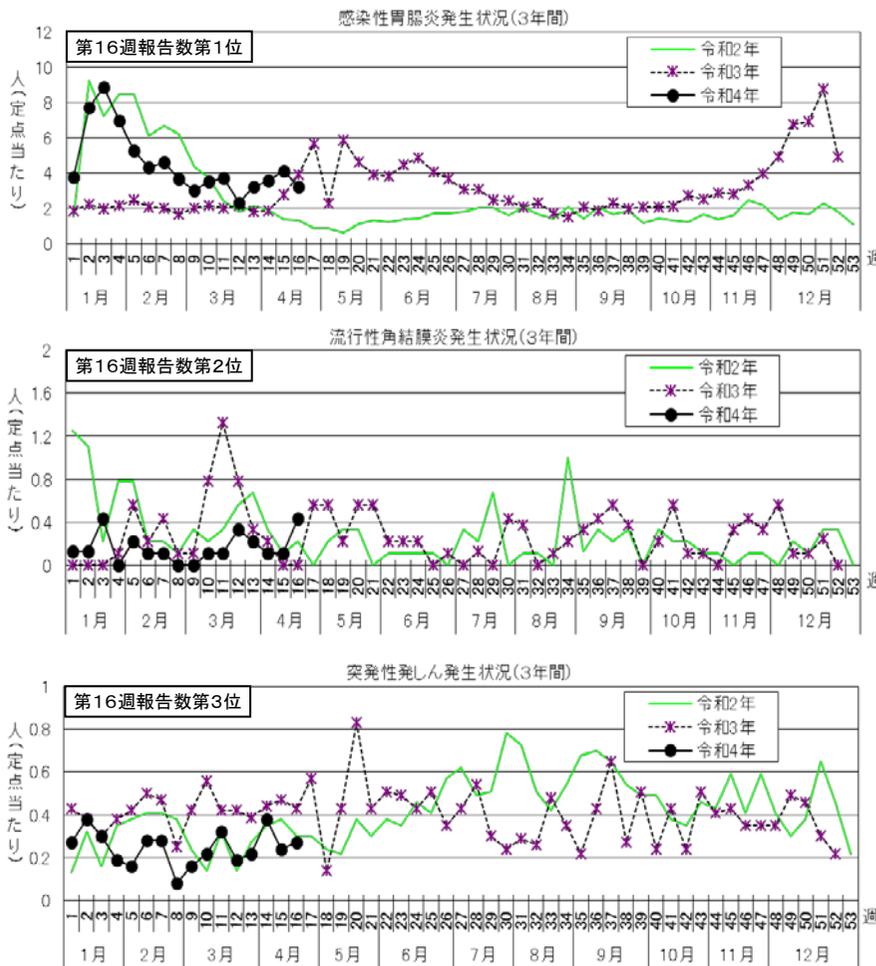


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年4月18日（月）～令和4年4月24日（日）〔令和4年第16週〕の感染症発生状況

第16週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) 突発性発しんでした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.24人と前週（4.11人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.44人と前週（0.11人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。  
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.27人と前週（0.24人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



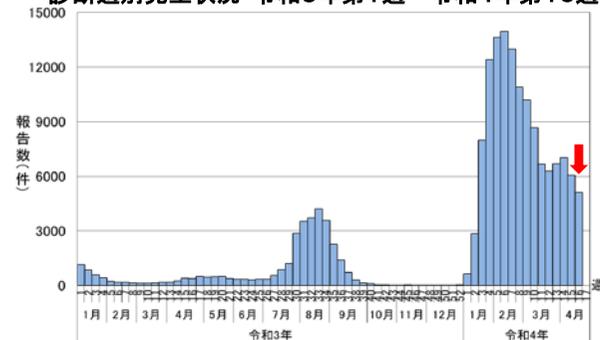
## ゴールデンウィークにかけて気をつけたいこと

ゴールデンウィーク中は、移動や接触の機会が増えるため、感染症が拡大する懸念があります。川崎市における令和4年第16週（4月18日～24日）の新型コロナウイルス感染症の報告数も、5114件と減少傾向にはあるものの、依然として多い状況です。また、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎等、春から夏にかけて報告数が増加する感染症もあります。感染症の拡大防止のため、引き続き人混みではマスクを着用し、手指衛生等の予防対策を徹底しましょう。

さらに、令和4年1月以降、欧米を中心に小児の原因不明の重症急性肝炎も報告されています。

感染症の発生動向に注意し、体調がすぐれない場合は外出を控え、無理をせずに過ごしましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症  
診断週別発生状況-令和3年第1週～令和4年第16週-



### 欧米を中心に発生している小児の原因不明の重症急性肝炎について

- 【発生地域】**
  - ・英国、スペイン、イスラエル、アメリカ合衆国等
- 【発症時期】**
  - ・令和4年1月以降
- 【症状】**
  - ・多くの症例で腹痛、下痢、嘔吐等の消化器症状が先行、その後、肝機能障害、黄疸が出現
  - ・ほとんどの症例で発熱はなし
  - ・肝移植を要した症例や死亡例の報告もあり
- 【原因】**
  - ・現時点では不明（アデノウイルスや新型コロナウイルスが検出された症例もあり）
- 【国内の状況】**
  - ・現時点で、16歳以下の子ども1名が原因不明の急性肝炎と診断され入院中



WHO: Multi-Country - Acute, severe hepatitis of unknown origin in children 等より作成